

# れんごう中越地協

第601号 2008.4.1  
連合中越地域協議会  
長岡市東蔵王2-2-68  
TEL 0258-24-0515  
FAX 0258-24-8930  
発行人 矢島 良彦  
定価 1部10円  
購読料は会費を含む

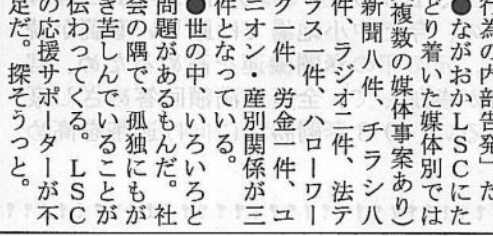
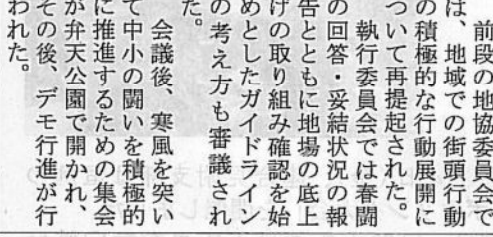
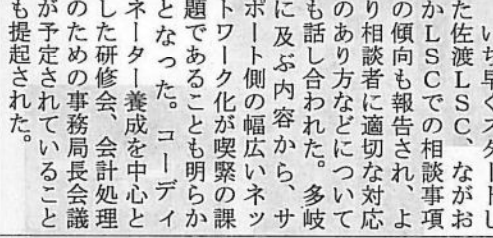
## 機関紙「れんごう中越地協」第600号記念 三地協(中越・魚沼・十日町)統合記念 ミニ講演とレセプションを盛大に開催

120名が受講して、交流懇親で地協・支部の連携確認

### 連合中越ホームページ リニューアルのお知らせ

3月21日(金)機関紙第600号と合わせ改装。機関紙共々是非ともご利用ください。

<http://tyuuetu.net/>



記念講演は「ライフサポートセンターの役割と課題」と題して、連合新潟会長で県労協協会長である江花和郎氏が講演。「地域に顔の見える連合運動が求められている。困った人々や苦しんでいる勤労者のためのワンストップサービス機構を果たすとともに、疲弊した地域再生につながる人のネットワーク構築まで展望したい。」と単なる通年相談所だけではない役割、課題が提起された。

会は一旦、休憩に入りレセプションに移行した。矢島議長から主催者を代表して挨拶が述べられた。一九九一年一月一日創刊から十八年余を経て、本日より記念すべき六〇〇号を迎えた。地域活動活性化に向けて、地協の再編もなされ、広域の地協と支部の有効な連携を構築しよう。」と訴えられた。ご来賓の

二〇〇八年三月二日(金)、機関紙「れんごう中越地協」創刊から六〇〇号を迎え、三地協統合による地協と支部の連携を確認する合同記念のミニ講演会とお祝いのレセプションが長岡グランドホテルにて開催された。

紹介の後、江花会長と六支部の代表が登壇して、一斉に乾杯の発声がなされ、交流懇親会となった。

アトラクションとして悠久太鼓「青悠会」による勇壮な太鼓演奏が披露された。

記念のミニ講演、レセプションには、連合新潟の中越地協担当の副会長、県労協協事の局長、労金支店長・生協支局長等を始めとして、次々と開所が行われている各地域のLSCのコーディネーターなど多くの方々からご出席がありました。

中締めは、団結願を唱うは、三名の副会長、連合中越三役等が登壇して、次代を担う青年女性委員会・SJネットの委員長が発声で声高らかに三唱され、七高らかに向かうスタートがなされた。

各地でスタートしているライフサポートセンター(LSC)の会計処理の統一化や、コーディネーターの契約の実務などを意思統一するための研修会が三月二日(金)午後から、なががおかLSCフールームで開催された。

江花県LSC理事長の司会で会議は進められ、県事務局から、会計処理方法の説明がなされた。

いち早くスタートした佐渡LSC、なががおかLSCでの相談事項の傾向も報告され、より相談者に適切な対応のあり方などについて話し合われた。多岐に及ぶ内容から、サポート側の幅広いネットワーク化が喫緊の課題であることも明らかとなった。コーディネーター養成を中心とした研修会、会計処理のための事務局長会議が予定されていることも提起された。

第79回メーデー長岡地区実行委員会  
第5回連合中越幹事会のご案内  
日時 4月11日(金)18:30~  
会場 長岡市勤労会館 大ホール  
※前段にメーデー実行委員会。終了後、引き続き幹事会です。

山の暮らし再生機構  
総会で年間活動をまとめ

〇四年に発生した中越大震災からの復興を総合的にコーディネートするために設立された(財)山の暮らし再生機構の評議会、理事会が三月二八日(金)長岡市立劇場会議室で開催された。

平成十九年度の活動報告、決算報告について報告どおり承認された後、二〇年度の事業計画と予算が提案され審議された。

中越大震災に続く、先の中越沖地震における教訓化などについて情報交換と意見交換もなされた。

長岡市が積極的に提起している「前より前へ」というキーワードからも活発な討議が展開された。

連合新潟  
地協代と執行委開催

〇八春季生活闘争の地協の山場に向けた意思統一を図るための地協代表者会議と拡大執行委員会が三月二六日(水)午後から新潟東急インで開催された。

前段の地協委員会で、地域での街頭行動の積極的な行動展開について再提起された。執行委員会では春闘の回答・要結状況の報告とともに地協の底上げの取り組み確認を始めたこととしたガイドラインの考え方も審議された。

会議後、寒風を突いて中小の闘いを積極的に推進するための集会所が弁天公園で開かれ、その後、デモ行進が行われた。

見なくっちゃ  
聞かなくっちゃ  
言わなくっちゃ

●なががおかLSCが二月に開所されてから約二カ月。二〇人から相談があり、一人の相談が複数に渡る場合もカウントして相談内容も大別すると労働問題九件、相続問題一件、交通事故対策二件、金銭問題二件、創業・起業一件、年金問題一件、介護高齢福祉二件、パソコン指導一件、企業の不正行為告発二件、趣味・道楽関係一件、これらに精神的ケアを要する事案が三件。

●十人の相談は、解決の糸口にたどり着いて決着、相手の方が思案中で、相手からの連絡待ちが八人、対策を弁士等と検討中が二人となっている。検討中の二件は「企業の不正行為の内部告発」だ。

●なががおかLSCにたどり着いた媒体別では(複数の媒体事案あり)新聞八件、チラシ八件、ラジオ二件、法テラス一件、ハローワーク一件、労金一件、ユニオン・産別関係が三件となっている。

●世の中、いろいろと問題があるもんだ。社会の隅で、孤独にもがき苦しんでいることが伝わってくる。LSCの応援サポーターが不足だ。探そうっと。

サラリーマン川柳(遺産分け母を引き取る人がない)(毎日を規則正しく不摂生)(気がつけば釣った魚に養われ)(OLの口につけたい万歩計)(休暇取れ五時には帰れ仕事せよ)

# 第79回長岡地区メーデー実施大綱

中合重

サラリーマン川柳(誉められてご馳走になって飛ばされる)(無礼講 課長は薄目開けている)(単身赴任 電話の音が明るすぎ)(いい家内 十年たったらおっ家内)

**長岡地区メーデー開催日** 5月1日(木)  
**集合・デモ行進** 集合8:30、デモ行進開始8:45、大会会場入場9:45)  
**集合地** A集団(明治公園)、B集団(宝田公園)、C集団(ツガミ前)、D集団(平潟公園)  
**厚生会館への入場** 実行委員会の誘導で、集団長の指示により指定の場所に入場。  
 デコカー・街宣車は、実行委員会の誘導により厚生会館東側の駐車場へ。  
 プラカードはコンクール審査のために宝田公園・弓道場へ持参・出展。

**集団責任者・参加産別**  
 A集団(集団長:電力総連、副集団長:交通労連、救護班:UIゼンセン)  
 JP、情報労連、電力総連、運輸労連、JR総連、UIゼンセン、労済労連、交通労連、全労金、全国ガス、サービス流通、損保労連、その他  
 B集団(集団長:自治労、副集団長:高教組、救護班:自治労)  
 自治労、日教組(新教組・高教組)、政労連、自動車総連、関信国税、JR連合、国公職組、各政党・団体、その他  
 C集団(集団長:JAM、副集団長:JEC、救護班:ヘルスケア労協)  
 JAM(北部地区)、私鉄総連、JEC連合(石開労組)、基幹労連、紙パ連合、その他  
 D集団(集団長:ヘルスケア労協、副集団長:フード連合、救護班:ヘルスケア労協)  
 フード連合、国公総連、全水道、JAM(北部除く)、ヘルスケア労協、電機連合、JEC連合(帝石労組)、その他



**地区大会** (大ホール 10:00開会、11:45閉会)  
**大会次第**  
 主催者、ご来賓挨拶  
 記念講演「障害者として、人として生きる」  
 講師 雪国ボランティア身体障害者療護施設  
 マイトーラ利用者 磯辺 嘉勝氏  
 地域貢献活動発表  
 プラカードコンクール審査発表、大抽選会、  
 ※メーデー花の種(海外旅行)は県中央メーデーの抽選です。  
 ※「ほのぼの献血」は例年通り実施されます。

## 各支部メーデーの日程・会場案内

見附地区 4月29日(火) 9:30~中央公民館  
 栃尾地区 5月1日(木) 18:30~栃尾文化センター  
 小千谷地区 4月27日(日) 10:00~サンプラザ  
 北魚沼地区 5月1日(木) 9:30~小出郷体育館  
 南魚沼地区 5月1日(木) 9:00~南魚沼市民会館  
 十日町地区 4月26日(土) 10:00~十日町市民会館



## 連合栃尾支部だより



### 08春季生活闘争勝利栃尾地区総決起集会開催

3月11日 栃尾文化センター大会議室におきまして08春季生活闘争勝利栃尾地区総決起集会がおよそ100名の参加で開催されました。

開会にあたり坂井支部長による主催者挨拶。「大企業の収益が増す中で、中小、地方の経済格差が進み、地方の地場産業は衰退、賃金格差が進むばかり。減税の廃止や各種保険料の値上げで、可処分所得は減るばかりである。労働者の生活の糧である賃金を上げないと私たちの生活は苦しくなるばかり。今こそ立ち上がり、2%以上の賃上げを勝ち取りましょう」と力強く挨拶されました。

その後、連合中越金子事務局長より来賓挨拶を受けました。メガネスーパーで働く社員の実態報告と、過酷な労働とノルマに悩まされながらも頑張っている組合員の報告を受けました。

その後、連合新潟安念副会長より基調報告がなされ、新潟県的な情勢と非正規社員と派遣労働の実態について報告を受けました。そしてワークライフバランスを意識した生活を目指しましょうと提起がありました。恒常的な時間外労働をなくし、仕事と生活の調和の取れた生活を取り戻そうということです。

その後、集会アピールの提案、採択が行われ、スローガンの確認があり、坂井支部長の団結ガンパロウで閉会しました。参加された皆さんご苦勞様でした。ありがとうございました。

## 連合見附支部だより



去る3月14日(金)、連合見附支部は恒例の「春闘団結ボウリング大会」を開催しました。

08春闘は、民間大手では大手の有額回答はあったものの、今だ中小地場では厳しい春闘が続いています。元気印の春闘機運を高めるため、官民の34名が参加して、全員が満額回答めざし豪快に腕を振るい、08春闘勝利に向け連帯を高めました。